

平成 28 年 7 月月例記者会見

質疑応答概要

1. 発表内容について

〔子ども参観日〕

記者 子ども参観日の対象は、市職員の子どもですが、広く小学生から公募して職員の仕事を見てもらうとか、この先の予定はどのようなものですか？

市長 今回は市の特定事業主行動計画に位置付けられるもので、まずは市職員とその子どもが対象です。市役所の取組みを皮切りに、民間の事業所でも検討してもらえれば、何かの形で応援できることはないかと考えています。

記者 10 人は決まっているのですか？

市長 今のところ 13 人です。

記者 優秀賞は何番目の賞ですか？

市長 最優秀の次です。去年の中では一番評価が高かったものです。

記者 最優秀は無かったのですか？

市長 ありませんでした。

記者 提案者には子どもがいて、参加するのですか？

市担当 提案者の子どもは小さいので不参加です。

記者 辞令とはどのようなものですか？

市長 名札と一日職員という職員証のようなものです。

〔生駒市 ICT 活用授業研究モデル事業〕

記者 10 月に公開授業となっていますが、見どころはどの頃ですか？

市長 公開授業ですので、その時に取材をお願いします。2 か年事業になっているので、平成 29 年 10 月に発表会をします。

2. その他

〔選挙応援〕

記者 この間の参院選で市長が佐藤候補の支援をしていたが、前の選挙では自民党の候補者と違って、今回は自民党の候補者を支援するというのは、どういう意味ですか？

市長 自民党の大会があったときに挨拶をしたことかと思いますが、基本的には無党派なので、どこかの党に偏って支援するとか支援されるとかいう立場ではないと思っています。今回の選挙戦を見たときに、野党の 4 党共闘みたいな話の中で受ける印象として、釈然としないところがあります。課題は自公政権にもありますが、真摯に取り組まれており、現実的な対応をしていると一定感じていますので、

今回はそういう対応をしたところでは。

記者 自公政権の評価するところはどこですか？

市長 経済政策です。雇用を昔の 10 年に比べて非常にきちんと確保しています。奈良県の雇用状況を達成したところが具体的に大きいと思います。

記者 野党 4 党が積然としないのはなぜですか？

市長 憲法改憲のところでは一致していたと思いますが、それ以外のところの考え方は必ずしも一致しているとは思えません。

記者 次期参院選は、また別の対応をされるということですか？

市長 基本的には、そういうところでどういう運営をされるかを見ながら判断します。

記者 今回の参院選で佐藤さんを応援したのは、市長が自分の判断で決めたことですか？

市長 もちろんそうです。

記者 どなたかの要請を受けてとかではないですか？

市長 挨拶に来てほしいと要請があったので、基本的に自民党の大会が生駒で開催されるので地元市長として挨拶に行ったということです。

記者 高山第 2 工区のこともあるし、県の支援を求めるには自民党と仲良くしておかないと。

市長 県や国との連携が必要になってくるのは、そうだと思います。今まで生駒市だけで対応できるところは、いろいろと取り組んできていて、今残っており大きな課題は、高山も病院など、県や国との連携は必要となってくるものが残っている印象はあります。私が市長になって、県や国もそうですが、関係を少しずつもう 1 回ちゃんとしていこうと、立て直していこうと苦勞してきたつもりです。その中で自民党や公明党との関係を考慮して対応しているところは事実です。